記者発表資料

平成２４年１０月２５日
国土交通省青森河川国道事務所
青森県　県土整備部　河川砂防課

岩木川環境整備事業等を再評価
～岩木川河川整備委員会を開催～

国土交通省東北地方整備局と青森県では、下記のとおり「第10回岩木川河川整備委員会」を開催します。

「岩木川河川整備委員会」は、「岩木川水系河川整備計画」の策定及び「事業の進捗」や「直轄の事業評価」について意見を伺うため、平成１８年３月に学識経験者等を委員として設立されたものです。

今回の委員会では、岩木川総合水系環境整備事業の再評価、板柳地区消流雪用水導入事業の事後評価、岩木川水系河川整備計画（指定区間）の変更、及び、事業の進捗について意見を伺うものです。

記

日　時 ： 平成２４年１０月３１日（水）１３：３０～１５：３０

場　所 ： 弘前プリンスホテル　２階　孔雀の間
弘前市駅前１－３－４

内　容 ：（１）事業の進捗について
（２）岩木川総合水系環境整備事業の再評価　【参考資料１】
（３）板柳地区消流雪用水導入事業の事後評価【参考資料２】
（４）岩木川水系河川整備計画（指定区間：弘前圏域）の変更について

公開等 ：本委員会は、公開としております。
報道関係者の席を用意しております。
なお、写真、テレビの撮影は冒頭（挨拶まで）のみとさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。
一般の方で委員会の傍聴を希望される方は、会場の都合により数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

発表記者会 ： 青森県県政記者会、建設関係専門誌、津軽新報社

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０－３８　　電話０１７－７３４－４５２１（代表）
副所長（河川）　　小山　幸男（内線２０４）
調査第一課長　　樋川　　満　（内線３５１）
青森県　県土整備部　河川砂防課
青森市長島一丁目１－１　　電話０１７－７２２－１１１１（代表）
河川整備グループ　総括主幹　　田邊　順次（内線４３０４）
主　　幹　　中野　伸治（内線４２９４）

岩木川総合水系環境整備事業の概要

参考資料1

●良好な河川環境の創出や保全を目的に、河川の自然環境の再生、河川利用の推進を図ります。

【事業内容】

☆水辺整備事業では、にぎわいのある水辺の創出や環境学習の場となる水辺の整備等を行っています。

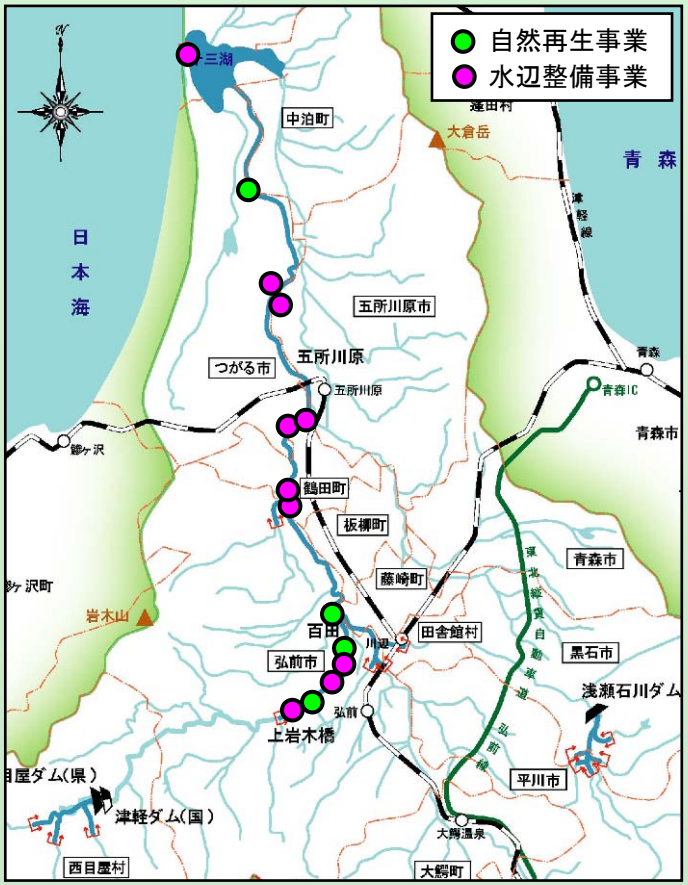
☆自然再生事業では、魚類の遡上が困難な施設の魚道整備、自然環境の復元・保全のための河道整備等を行っています。

水辺整備事業
：釣りデッキなど水際の整備



水辺整備事業
：芝生広場など高水敷の整備





自然再生事業：魚道の改良



水辺整備事業
：階段護岸など親水設備の整備



消流雪用水導入事業〈板柳地区〉の概要

参考資料2

本事業は、豪雪地帯である板柳地区において、冬期間も安全で快適な生活を営むことができるように、水量の豊富な岩木川から、水量の不足する板柳町市街地の中小河川へ消流雪用水を供給することによる河道内堆雪の排除、導水路整備による内水対策、および地下水利用から河川水利用へ転換することによる水資源の確保を目的として実施したものです。

板柳地区内の130ha（約5,700人）を対象として、岩木川の2箇所から最大1.5m^3/s（上流部：0.97m^3/s，下流部：0.53m^3/s）の消流雪用水を導水するための取水施設や導水路等を整備しました。







事業によって水量が増えた融雪溝には、それまでよりたくさんの雪を投入できるようになり、道路脇の雪堤が解消されました。